

ラ大日本帝國臣民ノ為ニ格テ勸告ス

昭和五年四月二十二日

建國會本部

争議園本部 御中

去込氏代表ノ電氣局訪問

神田区全職員代表三上秀雄外四名並深川区全職員代表
森建二外八名本所区民代表滝沢七郎外七名代表士本田義成、
大崎清作等北四名ハ本日午後一時電氣局ニ局長ヲ訪問シ局長
ヨリ現在迄ノ争議全過ヲ聴取シタル後一因ヨリ局長ニ對シ甚
シク謝スルト共ニ吾々ニ極力援助スルヲ以テ局長ニ格テ又
中途挫折スルカ如キ事ナク飽迄強硬ニ且ク徹底的ニ漸行セラ
シタレ云々ト難辭的辭ヲ述バテ退出セリ

罷業第四日ノ狀勢 (四月二十三日)

一東京交通労働組合

市電當局ノ態度ハ依然強硬ナル時ニ於テ昨日本來争議團ノ陣容
ハ次第ニ乱レ支部争議員ニ解散引揚ヲ為シ就業ヲ申出ソル向
モアリ為メニ争議團首脳部ハ極度ニ根拠シ各種ノ印刷物ヲ發
シ或ハ幹部自ラ支部争議員ヲ巡回シ争議激化ノ統一ニ努メワ
ツアリレモ罷業ノ繼續ハ益々市民ノ反感ノ度ヲ増スノミニテ
斯カル策動モ何等ノ効果ヲ擧ケル能ハサル為メ争議團幹部ノ
焦燥一方ナラズ殆レト擧ルニキ備メナキ苦境ニ陥リタルカ如
キ状態ニレテ只僅カニ他団体ヨリノ援助ニ多少ノ力ヲ得テ幸
フレテ斗争氣氛ノ不振状態ヲ挽回スベク策勵ヲ持續シワッア
リ

然ルニ市電當局ニ對シテハ市會待遇者會ヲ初メ各団体ヨリノ
聲援的決議文ハ相次テ寄セラレソワッアリテ當局ハ不良分子ノ